

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	中島 大之
主な担当科目	室内楽Ⅰ,室内楽Ⅰ①,室内楽Ⅰ②,室内楽Ⅱ,室内楽Ⅱ①,室内楽Ⅱ②,室内楽Ⅲ,室内楽Ⅳ,室内楽Ⅴ,室内楽Ⅵ,室内楽演習Ⅰ,室内楽演習Ⅱ
シラバス	ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。) ※画面下「シラバス」>「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック
2023年の教育目標・授業に臨む姿勢	学生の目線に立ち、他人との比較ではなく、自己の日々向上を目指すことを方向づける。個人レッスンでは基礎練習の意味を理解させ、グローバルな演奏スタイルを学び、ホルンという楽器の特性からも、独奏のみならずオーケストラや室内楽などの合奏に適応できる能力を養う。合奏授業の指導のために、ホルン以外の他の楽器の特性や演奏法に対する理解をさらに深めていく。
2023年の教育に関する自己評価	個人レッスンにおいては、基礎・エチュード・ソロ曲・オーケストラスタディという4つの柱を、個々の特性やモチベーションを鑑みながら、バランス良く実践することができたと考える。合奏授業においては、合奏や分奏において指揮を担当する頻度が増えた中、全ての楽器に対する目配りと、学生の音楽に取り組む姿勢の方向づけにおいて一定の評価がなされたと考える。
2023年のFD活動に関する自己評価	全体研修会においては、本学の教育に対する考え方、運営を含めた方向性を知る上で有意義なものであり、自己の中でその理解が深まっていると考える。学内組織の研修会においては、教員達みなさんの考え方を知ることができた。
授業改善のために取り入れた研修内容	特に新たな取り組みはないが、引き続き効果的な授業を目指していく。

2023 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:2115 教員名:中島 大之

1)アンケート結果に対する所見

実技レッスンにおいて、回答者全員が満足しているという結果であるが、回答者数が半分にも満たないことから慎重な受け止めが必要と思われる。これまで同様に、それぞれの学生の個性を尊重し、常に新しい情報を取り入れ、グローバルな視野に立って指導を続けていきたい。

2)要望への対応・改善方策

回答率の低さが顕著であり、正確な授業評価として捉えることは困難であると思われる。昨年度も述べさせていただいたが、アンケートの時期・周知方法の見直し、教職員の声かけの徹底などで改善していくことが必要であると考えます。

3)今後の課題

授業アンケートの回答率を上げることが課題である。

以上